

# 平成 27 年第 4 回西海市議会定例会

## 市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
12 月 1 日 (火)	1	1	岩 本 利 雄 議員	1
	2	2	湊 瀬 栄 子 議員	2
	3	3	中 野 良 雄 議員	3
	4	4	渡 辺 督 郎 議員	3
	5	5	田 口 昇 議員	4
12 月 2 日 (水)	6	1	平 野 直 幸 議員	5
	7	2	戸 浦 善 彦 議員	6
	8	3	朝 長 隆 洋 議員	7
	9	4	小 嶋 俊 樹 議員	9
	10	5	中 里 悟 議員	10
12 月 3 日 (木)	11	1	井 田 利 定 議員	10
	12	2	杉 澤 泰 彦 議員	11

## 1. 岩 本 利 雄 議員

### 質問事項 1

#### 歳入増対策について

#### 質問の要旨

- (1) 平成 26 年度一般会計及び特別会計歳入決算において、収入未済額は 4 億 7 千万円を超えている。早く回収し、歳入増に繋げる必要があるが、収納対策について以下の点を伺う。
  - ① この収入未済額を今後どのようにして回収するのか、収納率向上に向けた対策を伺う。
  - ② 不納欠損額は 1,300 万円を超えている。不適切な債権管理に起因する不納欠損をなくし、歳入増に繋げる必要があるが、効果的な対策を伺う。
  - ③ 西海市債権管理条例を制定し、来年度施行へ向けての諸準備が進められている。税外収入金に関する延滞金徴収は来年度から実施されるが、延滞金の総額をどれくらいと見込んでいるか。
  - ④ 次年度実施に向けて、今後 13 の収納業務で滞納整理システム導入を検討していると聞いているが、導入経費はいくらになるのか。
  - ⑤ コンビニエンスストア収納は、現在 4 つの税が対象となっている。平成 26 年度の実績は、利用件数 17,525 件、収納金額 1 億 2,929 万 6,100 円で、平成 23 年 5 月 2 日に開始してから、各年度徐々に実績は向上している。納付機会拡大の観点から、税外収入金等の納付が可能となるよう再三要望しているが、検討するとして未だ実施されていない。実施できない理由を伺う。
  
- (2) 歳入増が期待される「ふるさと納税」の取組み強化について、以下の点を伺う。
  - ① ふるさと納税は、寄附をしていただく方々をできるだけ多く募らなければならない。また、単年度のみではなく継続して毎年寄附をしていただけるような運営をしなければならない。寄附者やリピーターの増を目指して、どのような取組みを実施しているのかを伺う。
  - ② ふるさと納税の返礼品に関する選定や商品の確保、発送方法等について、関係機関や団体等とどのような協議を行っているのかを伺う。
  
- (3) 広告事業の取組み強化について、以下の点を伺う。
  - ① 過去 5 年間の広告収入実績は、平成 24 年度をピークに減少している。減少の理由は何か。

- ② 広告事業は、本市にとっても企業にとっても意義があり、この事業を推進することによって地域活性化が図られる。実績をみると広告媒体はほとんど広報誌によるものだが、他の印刷物やホームページ、施設、船舶等への広告を拡大し、事業の強化を図るべきだと考えるがどうか。

## 2. 瀧瀬 栄子 議員

### 質問事項 1

子育て支援に配慮した公営住宅の整備と供給について

#### 質問の要旨

平成 27 年 3 月に策定された「西海市子ども・子育て支援事業計画」に示されているように、子育て世帯を支援していくために公営住宅の整備と供給が必要となっている。

そこで、この計画が策定された以降に整備が予定されている大瀬戸地区（焼島漁民団地・焼島団地）及び大島地区（蛤団地・徳万団地）における改築等に際して、具体的にどのように反映され実施されていくのか。

### 質問事項 2

保育士の確保と処遇改善について

#### 質問の要旨

厚生労働省が行った調査では、全職種 of 労働者の平均賃金が 32 万 5,600 円であるのに対し、保育士は 24 万 4,200 円と 10 万円以上低くなっており、安定した保育を行うために保育士の確保と、その専門職としての処遇改善が必要となっている。

そこで、本市において平成 26 年度に実施された保育士等処遇改善臨時特例事業によって補助金が 2,215 万 2,000 円支出されているが、本市で働く保育士の処遇は、どのように改善されたか。

また、保育所から提出された処遇改善計画と実績報告をふまえ、今後の保育士の確保と処遇について、どのような対策を講じていくのか。

### 質問事項 3

西海市奨学資金制度の拡充について

#### 質問の要旨

- (1) 西海市奨学資金貸付基金条例は、経済的理由で修学が困難なものに対し学資を貸与して、教育の機会均等を図ることにより、社会貢献できる人材を育成しているとされているが、現状の日本の学費の高さを考えるならば、貸与金額の引き上げや償還免除など制度を拡充すべきと思うが、いかがお考えか。
- (2) 西海市介護福祉士等修学生修学資金貸与条例による制度の活用状況はどうか。
- (3) 西海市農漁業後継者育成奨学資金貸与条例による制度の活用状況はどうか。

#### 質問事項 4

##### 佐世保港内の米国原子力艦の放射線監視について

##### 質問の要旨

- (1) モニタリングポストを西海市寄船地区と横瀬地区に設置するよう要望するのはもちろんであるが、現在、国が実施しているモニタリングポストによる調査・分析結果が、本市に報告されているか。されていなければ報告を求める必要があると思うが、いかがお考えか。
- (2) 長崎県地域防災計画原子力災害対策編（平成 26 年 6 月 10 日修正）によると、原子力艦による原子力災害発生時の緊急連絡体制では、佐世保市には、現地放射能調査班、外務省及び九州防衛局から直接連絡が入ることになっている。  
一方、西海市は関係市と位置付けられ、長崎県に連絡が入った後に県を介して連絡が入ることになっている。  
緊急時は、一刻も早く適切に対応することが求められることを考えれば、西海市にも関係機関から直接連絡が入る体制を整える必要があると思うが、いかがお考えか。

### 3. 中野良雄議員

#### 質問事項 1

##### 西海市まち・ひと・しごと総合戦略の具現化について

##### 質問の要旨

- (1) 新たなまちづくりの指針として「西海市まち・ひと・しごと総合戦略」が策定された。2060年の人口を3万人程度とする目標を設定し、雇用の創出をはじめ、人口流出の抑制と流入の促進を図ると共に、結婚・出産・子育て等の環境を整備

し、地域経済の活性化による市民所得の向上に取り組み、西海市の魅力を高め、認知度を向上させるとして、5つの基本目標を設定し、本年度から平成31年度までの5年間の施策の方針が策定されている。

総合戦略の内容を具現化するためには、市民と事業者、行政の強力な協働作業と年次毎の予算の確保が求められると考える。そこで、総合戦略の施策実現に向けた具体的な取組みをどのように考えているのか伺う。

- (2) 雇用創出のため、何としても大島地区工業団地の整備と企業誘致を実現し、併せて定住促進を図る必要があると考える。そこで、大島徳万団地の土地を買い上げて、宅地造成をする考えはないか伺う。
- (3) 結婚の希望をかなえるため、独身男女の仲を取り持つキューピッド役の養成や認定制度を設ける考えはないか伺う。

#### **4. 渡辺督郎議員**

##### **質問事項1**

##### **防災対策について**

##### **質問の要旨**

- (1) 11月14日午前5時51分頃鹿児島西方沖を震源とするマグニチュード7と推定される地震が起きた。西海市も震度2ということだった。この時の市の災害対応は、どうだったのか伺う。
- (2) 携帯電話に緊急地震速報が入り心配した。震源は鹿児島ということで安心していましたが、津波注意報が発令されていた。防災対策の一つとして、市民にメール等で警報、注意報、避難警報等を知らせるシステムを構築してはどうか。

##### **質問事項2**

##### **コミュニティ・スクールについて**

##### **質問の要旨**

- (1) 文科省は、地域とともにある学校づくりを推進し、子供の豊かな学びと成長を一層支援していくため、コミュニティ・スクールを推進している。市でも、平成21年2月に亀岳小学校で文科省指定のコミュニティ・スクール推進事業研究発表会が開催されてきた経緯がある。しかしながら、現在に至るまで、市内には、コミュニティ・スクールとして指定を受けた小中学校はない。また、長崎県内でも指定を受けた学校は壱岐市に1校のみとなっている。全国の指定状況は、平成

27年4月現在2,385校に上っている。文科省は、全公立小中学校の1割に相当する3,000校を指定する目標を立てている。

長崎県教委と西海市教委がこれまで、なぜ、コミュニティ・スクールについて消極的だったのか、また今後の対応について伺う。

- (2) 前述の全国のコミュニティ・スクール指定校数2,385校のうち、高校はわずか13校であるが、そのうちの9高等学校について、その導入と成果についての報告がある。それを読むと学校の存続と地域の活性化に成果があることがわかる。西海市内の高等学校についても、導入について県教委に対して打診すべきと考えるがいかがか。
- (3) この高等学校のコミュニティ・スクールを進める上で、地域の課題解決や学校の課題解決に移住組のアクティブシニアを取込む仕組み作りをすると西海市版CCRCを検討する上で一つ要素となりうると考えるがいかがか。

## 5. 田 口 昇 議員

### 質問事項1

旧長崎オランダ村の再生について

#### 質問の要旨

- (1) 平成27年度当初予算に旧長崎オランダ村施設利活用事業が計上され、Bゾーンに参入予定の管理事業者による事業展開ができるようインフラ整備が実施されているが、工事の進捗状況について伺う。
- (2) 来春3月オープンと聞くが、管理運営会社の準備は整いつつあるのか。
- (3) 施設の利用計画では、「海をテーマ」に「港町ホールン」の環境演出がうたわれているが、漁協（漁民）との協議は出来ているのか伺う。
- (4) 旧長崎オランダ村Cゾーンのハウステンボスによる利活用に関して新たな動きはないのか。

### 質問事項2

雇用の創出、若者の働く職場の確保について

#### 質問の要旨

- (1) 工業団地「パールテクノ西海」について  
昨年度末で事業は完成したが、企業誘致活動の取組みと見通しについて伺う。
- (2) 大島地区工業団地地盤事業について  
整備計画と予算規模、利活用策等の内容を伺う。

(3) 旧崎戸中学校跡地活用事業について

企業進出が断念された跡地の利活用について、どのように考えているのか伺う。

### 質問事項 3

#### 樹園地基盤整備事業について

#### 質問の要旨

- (1) 西彼町小迎、白崎地区樹園地基盤整備計画の概要と計画の進捗状況について伺う。
- (2) 地元説明会の開催概要と地権者の同意は得られたのかについて伺う。
- (3) 担い手の確保と品種の選定の見込みについて伺う。

## 6. 平野直幸議員

### 質問事項 1

#### 定住人口 3 万人が暮らし続けるまちづくり対策について

#### 質問の要旨

西海市まち・ひと・しごと総合戦略によると、2060 年の目標人口は 3 万人程度と設定された。この数値は現下、本市での毎年約 500 人が減少している推移とは視点を変えて推計したものであり、政策的推計人口と理解する。

小さいながらも市としての自治体機能を維持・継続する上においては、本市誕生時の人口規模の程度は必要であると考え。これからのまちづくりに期待し、住み続けたい西海市をめざす時に、政策的な目標人口を 3 万人に設定したことは理解できる。

さて、いよいよ目標は見えたことになるが、その定住人口確保に向けては、人の流れに変化を持たせ、選ばれる西海市となるかなど多くの課題が山積している。

中でも、民間の力を呼び込む政策及び子育て支援策は極めて重要になってきていると捉えている。以下のことについて市長の所信を伺う。

(1) 民間事業者活動支援策の創設について

- ① 雇用力に着目し、既存事業・新規起業者も対象にした事業活動に対して、新たな支援を行う考えはないか。
- ② 若者の定住化に着目し、宅地造成と住宅建築を行う事業者に新たな支援を行う考えはないか。
- ③ 事業者の経営の効率化と後継者確保に着目し、農業をはじめ経営体の法人化の促進と法人化の支援を行う考えはないか。

(2) 西海市が行っている直営事業の民営化について

民間で出来るものは民の力に転換し、行政経費の節減と民間による雇用力の維持・継続を図るべきと考える。

- ① 市営船の民営化計画の進捗と方向性について伺う。
- ② 幼稚園・保育所の民営化の計画について伺う。

(3) 子育て支援策の拡充について

合計特殊出生率の上昇と子育て家庭の支援に着目し、保育料軽減策の拡充等により、西海市のイメージアップを図り、青壮年層の転入に期待する施策を問う。

① 保育料の2人目無料化適用の拡充策について

平成28年度施行の2人目以降の無料化制度を、さらに平成29年度から1人目の規定を高校生まで拡充する考えはないか。

② 1人目保育料を現行西海市基準の5割以下とする拡充策について

現行の保育料基準をさらに拡充し、保育支援といえは西海市といえるアピール力の強い保育料に拡充する考えはないか。

③ 児童・障がい者の遊び場づくりについて

児童・生徒、障がい者等の自由な遊び・憩いの場を設置し、いつでも家族と一緒に利用できる遊び場を提供する考えはないか。

## 7. 戸 浦 善 彦 議員

### 質問事項1

西海市民のための雇用の場の創出について

#### 質問の要旨

- (1) オープンを間近に控えている旧長崎オランダ村施設利活用事業の進捗状況は計画通りなのか。また、管理運営会社と市の貸借等に係る契約はどうなっているのか伺う。
- (2) 西彼町風早地区で企業誘致を目指す工業団地の企業誘致の現状と見通しはどうか伺う。

### 質問事項2

西海市民の生活の安定、福祉向上のための政策について

#### 質問の要旨



- (1) 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律（８条、９条）を活用した事業の状況及び今後の計画について伺う。
- (2) 西海市内のAED設置の現状（場所、数等）と今後の計画について伺う。

### 質問事項 3

#### 西海市の「いじめ」対策について

##### 質問の要旨

- (1) 市内小学校及び中学校における「いじめ」の現状と市の対策について伺う。
- (2) 市内高等学校における現状の把握と市との連携について伺う。

## 8. 朝 長 隆 洋 議員

### 質問事項 1

#### 人口減少についての今後の市の捉え方と対応について

##### 質問の要旨

将来の西海市の人口ビジョンが示され、30年後も、西海市の人口3万人を確保するという方向性が示された。このことについては、やる気と意欲が感じられ、肯定的にとらえているが、この目標を目指して初年度にどのようなスタートを切るのかが重要になってくる。来年度予算も含めて、その戦略や体制を伺いたい。

- (1) 来年度予算の編成に当たっての市長の基本的考え方と、具体的な政策とその進め方は。
- (2) 職員の意識と体制が今までの状況と変わらなければ、これまで通り人口は減少し、衰退するだけである。どのような意識と体制で進めていくのか。
- (3) 将来3万人を維持するためには、市民とともに夢を共有し、その実現に協力を求める作業が必要である。市長はその必要性をどう感じているか。また、その作業をどのように進めていく考えか伺う。
- (4) 西海市に他の地域から移り住んで頂くためには、その為のPRと具体的な施策が必要である。
  - ① 現在、田舎ぐらし体験施設はあるが、今後更に、モニターとして来ていただく場合に対応できる「西海市の暮らしを体験できる住居」の十分な確保について、どのように考えているか。
  - ② 修学旅行生やモニターとして来て頂いた方々への対応もふまえ、民泊等の現在の状況はどうなっているか伺う。

- (5) 今後、福祉や介護・医療に携わる職種の採用者の増加による人口増加策が考えられるが、雇用の確保をしたくても資格者がいないという事態を想定し、速やかに対応できる体制作りが必要である。そのため、官民で情報共有しながら、早い段階で進める必要があると考えるが、いかがか。

## 9. 小 嶋 俊 樹 議員

### 質問事項 1

#### 業務委託の在り方について

#### 質問の要旨

昨年出された一般廃棄物処理業の許可に関する判例の中で、「一般廃棄物処理業は、専ら自由競争に委ねられるべき性格の事業とは位置付けられていない」という法解釈を示す判例が示されている。

地方公共団体が本来為すべき業務を外部に委託するケースは様々にあり、一般廃棄物処理業という業態との間で一律に比較は出来ないものの、昨今、とかく経済性優先を掲げて競争原理の下での契約が推奨される傾向にあるが、地方公共団体の業務の中には、地方公共団体自身が統括的な責任を有し、必ずしも経済性や財政的利益を確保しただけでは行政としての使命を果たすことができない業務も多々あるのではないかと考える。

そこで、西海市が行う業務委託の在り方について、市長の基本的な考えを伺う。

### 質問事項 2

#### 地域おこし協力隊の効果について

#### 質問の要旨

総務省発のこの事業は、さまざまな住民の期待と協力隊員自身の夢が実現されるよう生まれた。

本市において、どのような効果をもたらしているのか。また、メンバーの今後の動向について伺う。

### 質問事項 3

#### 小中学校、保育園、幼稚園の給食の状況について

#### 質問の要旨

- (1) 各施設（民間も含めて）の食育の実施の現状について伺う。

- (2) 保育園や幼稚園の栄養指導の状況について伺う。
- (3) 食物アレルギーの生徒・児童・園児の把握及び対応状況を伺う。

## 10. 中 里 悟 議員

### 質問事項 1

策定された「西海市人口ビジョン」と「西海市まち・ひと・しごと総合戦略」について

#### 質問の要旨

- (1) 人口減少対策における若者定住等を図る上での具体的な戦略について伺う。
- (2) 企業誘致が急務と思うが、実現に向けた戦略と見通しを伺う。
- (3) 西海市の基幹産業である農業は、高齢化等々で衰退が懸念されている。市長はこのことをどう受け止め、総合戦略で農業施策をどう見直すのか伺う。
- (4) 次世代が夢と希望を持てる利便性の高いまちづくりが急務と思うが、具体的な戦略について伺う。
- (5) コンパクトシティ化の必要性に対する市長の見解を伺う。
- (6) 行政のスリム化と魅力ある西海市づくりを図る上で、市長は、新庁舎建設実現に向けた決断をすべきと思うが市長の考えを伺う。

### 質問事項 2

市内小中学校でのいじめ、不登校、暴力行為と家庭内での暴力、虐待行為等の実態について

#### 質問の要旨

市内小中学校におけるいじめ、不登校、校内又は家庭内での暴力、家族等による虐待被害の現状と今後の対応策について伺う。

## 11. 井 田 利 定 議員

### 質問事項 1

西海市まち・ひと・しごと総合戦略について

#### 質問の要旨

- (1) 総合戦略の期間が平成 27 年から平成 31 年の 5 か年となっている。短期間での地方創生の実現に向けた政策の具現化は厳しいと思われるが、市長として取組みに対する決意を伺う。

- (2) 総合戦略は、西海市総合計画後期基本計画をもとに策定されているが、後期基本計画の終了後はどのような見直しを行うのか。また、長期的な取組みの施策は、いつの時点で目標を数値化するのか伺う。
- (3) 平成 28 年度当初予算で予定している総合戦略に特化した新規施策はどのようなものか伺う。

## 質問事項 2

### 旧長崎オランダ村施設利活用事業について

#### 質問の要旨

- (1) 平成 28 年 4 月に管理運営会社により事業を開始する予定となっているが、市が実施主体として行っているインフラの整備及び家屋改修の進捗状況について伺う。
- (2) 管理運営会社との賃貸借契約の締結状況及びその後の市の関わりについて伺う。

## 12. 杉 澤 泰 彦 議員

### 質問事項 1

#### 崎戸港における船舶避難場所（土井の浦）改修について

#### 質問の要旨

近年、日本近海の海水温が上昇しているため、台風が年々強力化し 950hpa 以下で九州に接近することが常態化していることは承知のとおりである。

台風接近に伴い、崎戸港では船舶の主要避難場所として土井の浦の入り江が使われているが、ここは天然の避難最適地となっており、ほぼ四方の風を遮り、暴風雨時でも海面は静かで船舶の安全が保たれている。

この場所の改修については旧崎戸町時代から県へ要望を行っているところであるが未だ見通しが立っていない。しかしながら、強力化する台風が頻繁に接近している現実と直撃の可能性を考えると、今や、この場所の改修は船舶の安全安心の確保の観点から、プライオリティが非常に高い喫緊の課題である。そこで、次のことを聞きたい。

- (1) 旧崎戸町時代から続く懸案事項であるが西海市としての要望はどのようなになっているのか。

- (2) 西海市としてこの場所の存在意義をどのように捉えているのか。
- (3) 去る7月23日に県北振興局長を含む専門職員を交えて当地の調査を行っていただいたが、内楯田団地の裏からつづく当該場所までの進入道路の整備は西海市に受けていただきたいということであった。この意見を踏まえ、今後西海市はどのような対応を考えるか。

## 質問事項2

### 平島漁港防波堤改修について

#### 質問の要旨

平島漁港入口防波堤周辺の環境整備の必要性については平成20年に当時の同僚議員からも同種の質問があった。その後、7年あまり過ぎたが、いまだになんの進展も見せていない。つい最近、実際に防波堤に登って確認したところ、防波堤本体をなす巨大なコンクリートの固まりが自然の猛威によってズレを生じていた。また、表面のひび割れも確認できた。このままでは崩壊の可能性も考えられ、何らかの改修の必要性を痛感したところである。

台風接近時にも港の中には多くの漁船が繋がれており、高波等で防波堤がさらに大きなズレをおこしたり、最悪の事態として崩壊でもすれば漁船は言うまでもなく、平島港の地形上、高波、高潮など、集落に甚大な被害をもたらすことも想定される。この状況やそれに対する対策について西海市の考えを聞く。

## 質問事項3

### 大島幼稚園と間瀬保育所の民営化について

#### 質問の要旨

この問題についてはこれまで何回か質問を行ってきた。平成24年3月22日の西海市立保育所、幼稚園民営化検討委員会の答申が出され、大島地区については間瀬保育所と大島幼稚園を一体化して民間移譲し、民設民営による認定こども園として創設させるということになっていたが、その後、間瀬保育所と大島幼稚園の一体化は距離的に難しいとの答弁があった。保護者説明を含めその後の進捗を聞きたい。